

令和 6 (2024) 年度 特別推進研究 審査結果の所見

研 究 課 題 名	がんと正常組織におけるクローン進化の解明
研 究 代 表 者	小川 誠司（京都大学・医学研究科・教授）
審査結果の所見	【学術的意義、期待される成果】 応募者はがんゲノム研究の第一人者であり、クローン進化の究明を目指す本研究は、優れた実績と高度な技術基盤、十分な規模の解析で裏打ちされており、実行性が高く、世界を牽引する先駆的研究であると言える。既に、正常組織においても変異を有するクローンが拡大して存在することを見いだしており、エピゲノムも含め発がんのメカニズムをより包括的に解析することで、がん幹細胞仮説などこれまでの考え方を大きく修正した新しい仮説が提唱されることが期待される。また、老化や他の疾患の理解にも貢献できる可能性が高く、社会的興味の高い情報を発信することも期待できる。